



平成12年東海豪雨災害(愛知県犬山市)

昭和47年7月豪雨災害(愛知県豊田市(旧小原村))

平成元年恵南東加茂豪雨災害(愛知県豊田市(旧旭町))



平成29年度
第35回

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
 6/1→30
 かけ崩れ防災週間 6/1→7

土砂災害防止 全国の集い

CPD・CPDS
 「認定講習」

見つめよう! 伝えよう! 砂防の歴史
 ~こっそり愛知で考える 明日への土砂災害対策~

in 愛知

※「こっそり」とは、愛知のグルメの特徴を表す言葉であり、「しっかり」考えるという意味

特別講演 『猿投窯から瀬戸窯へ』

講演者 柴垣 勇夫 (元愛知淑徳大学教授、静岡大学名誉教授)

話題提供 『中部経済圏の基盤づくりに貢献、愛知の砂防』

講演者 松武 義聰 (豊田市矢作川研究所常任顧問、元愛知県砂防ボランティア協会会長)

パネルディスカッション 見つめよう! 伝えよう! 砂防の歴史
 ~こっそり愛知で考える 明日への土砂災害対策~

後援

内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりかけ崩れ対策協議会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、(一社)愛知県建設業協会、(一社)愛知県土木研究会、(一社)愛知県測量設計業協会、(一社)中部地質調査業協会愛知県支部、(一社)建設コンサルタント協会中部支部、愛知県治水砂防協会、愛知県市長会、愛知県町村会、愛知県砂防ボランティア協会、愛知県消防協会、中日新聞社、㈱CBCテレビ、東海テレビ放送、テレビ愛知㈱、メ〜テレ、中京テレビ放送㈱、㈱エフエム愛知、㈱ZIP-FM、㈱矢作新報、㈱新三河タイムス、ひまわりネットワーク㈱、エフエムとよた㈱

日時

平成29年 **6月1日** 木 13:00~17:00

会場

豊田市民文化会館 (大ホール)

主催

国土交通省、愛知県

お問合せ先

「全国の集い」運営委員会事務局(愛知県建設部砂防課内)
 (電話) **052-954-6560**



こっそり愛知

で考える「全国の集い」
 愛知県観光PRキャラクターひでっち

6月1日(木) 土砂災害防止「全国の集い」 CPD・CPDS「認定講習」

午前中 **連携行事** 平成29年度砂防ボランティア「全国のつどい」 **豊田市民文化会館(小ホール)**

| | |
|-------|--|
| 12:00 | <p>■開 場 (ドアオープン) / 豊田市民文化会館 (大ホール)</p> <p>■ポスターセッション、愛知県企画展示</p> |
| 13:00 | <p>■開会式典 (50分)</p> <p>◎挨拶: 国土交通大臣、愛知県知事、豊田市長、来賓 (国会議員等)</p> <p>◎土砂災害防止功労者表彰式</p> |
| 13:50 | (休憩10分) |
| 14:00 | <p>■特別講演 (40分)</p> <p>『猿投窯から瀬戸窯へ』</p> <p>講演者 柴垣 勇夫 (元愛知淑徳大学教授、静岡大学名誉教授)</p> |
| 14:40 | <p>■話題提供 (20分)</p> <p>『中部経済圏の基盤づくりに貢献、愛知の砂防』</p> <p>講演者 松武 義聰 (豊田市矢作川研究所常任顧問、元愛知県砂防ボランティア協会会長)</p> |
| 15:00 | (休憩15分) |
| 15:15 | <p>■パネルディスカッション (100分)</p> <p>『見つめよう! 伝えよう! 砂防の歴史 ～こっぴり愛知で考える 明日への土砂災害対策～』</p> <p>コーディネーター 松本 浩司(NHK解説委員)</p> <p>パネリスト 大内 茂樹(豊田市平畑町在住、昭和47年7月豪雨災害経験者) 大洞 和彦(トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部 コミュニティリレーション室 技範 担当部長)</p> <p>阪本真由美(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)</p> <p>田中 隆文(名古屋大学大学院生命農学研究科准教授)</p> <p>丹羽 康博(愛知県砂防課長)</p> <p>コメンテーター 西山 幸治(国土交通省砂防部長)</p> |
| 17:00 | <p>■閉 会 挨拶: 愛知県建設部長</p> |

18:00~19:30 意見交換会 **ホテルトヨタキャッスル**

■開催趣旨

愛知県、特に尾張地方、西三河地方の河川の下流では、かつては、上流の“はげ山”から流出した土砂の堆積により洪水が繰り返され、氾濫被害に悩まされてきました。

明治時代以降、愛知県はこの対策として、砂防事業や治山事業による中上流域のはげ山対策に積極的に取り組み、土砂の流出と洪水被害の解消に努めてきました。その結果は、下流域の安全度を飛躍的に向上させ、名古屋、豊田などを中心とする中部経済圏の基盤づくりに大いに貢献しました。ここ愛知県においては、川の中上流域は下流の経済・暮らしの豊かさを支える大きな役割を担ってきたといえます。

先人の努力により豊かな緑を回復した山々は都市生活者の憩いの場となり、山麓エリアでは良好な自然環境を求めて新たに住居を構える人たちも増えました。しかし、こうした地域は、南アルプスから続く急峻な地形が連なる県東北部や風化しやすい花こう岩の山地が広く分布した県中央部など、68名もの死者・行方不明者を出した「47年7月豪雨災害」をはじめとする、悲惨な土砂災害を繰り返して経験してきた地域でもあります。

明治時代、愛知県で砂防事業が始められてから約120年、「47年7月豪雨災害」から45年が経ち、見渡す限りのはげ山や、集落が土砂で埋まった悲惨な土砂災害の光景は、いま緑に覆われた穏やかな山里の風景から想像することはできません。

本催事は、愛知県における砂防や土砂災害の歴史を改めて認識いただくを通じ、減災に向けた地域における意識のありかた、必要な方策を探り、土砂災害に対する防災力向上を目的として開催するものです。

6月2日(金) 現地研修会 CPD・CPDS「認定講習」

※行程は変更になる場合があります。

A 半日コース

09:00 名鉄豊田市駅出発→09:40 堂ノ本区域→10:50 萩御殿→11:30 愛知県陶磁美術館→12:15 愛・地球博記念公園駅→13:00 JR名古屋駅

B 終日コース

08:45 名鉄豊田市駅出発→09:45 愛知県企業庁「豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業」→11:30 岩崎区域・城山沢→12:00 昼食→13:40 堂ノ本区域→14:50 萩御殿→15:35 愛・地球博記念公園駅→16:20 JR名古屋駅



明治43年当時 復元した萩御殿
萩御殿(明治時代のはげ山対策施工地)



堂ノ本区域(急傾斜地崩壊防止施設)



城山沢(砂防えん堤)



豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業

参加申込み要領

◎参加をご希望の方は、愛知県建設部砂防課ホームページから申込書をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、FAX、e-mail又は郵送でお申し込みください。

愛知県建設部砂防課ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/sabo/>

◎6月1日のメインプログラム(ポスターセッション、企画展示、開会式典、特別講演、話題提供、パネルディスカッション)のみ参加する場合は無料です。なお、当日受付も可能ですが、受付の混雑防止のため、事前申し込みをおすすめします。

◎意見交換会、現場研修会に参加する場合、下記の費用が必要です。必ず事前にお申し込みください。

6月1日(木) 意見交換会 ¥6,000(消費税込)

6月2日(金) 現地研修会 Aコース ¥4,300(保険料、消費税込)

Bコース ¥5,100(昼食、保険料、消費税込)

◎申込書による宿泊の事前手配も可能です。

◎メインプログラムのみ参加する場合を除き、別途通信手数料¥500を負担いただきます。

参加登録締め切り 平成29年5月9日(火)

《お問い合わせ先》

愛知県建設部砂防課 電話052-954-6560
担当: 安藤、伊藤